

2人のお子さんを育てる中島さんは、牛久出身のご主人との結婚を機につくば市から移住してきました。牛久は「人と人の距離が近いまち」だと感じると思います。



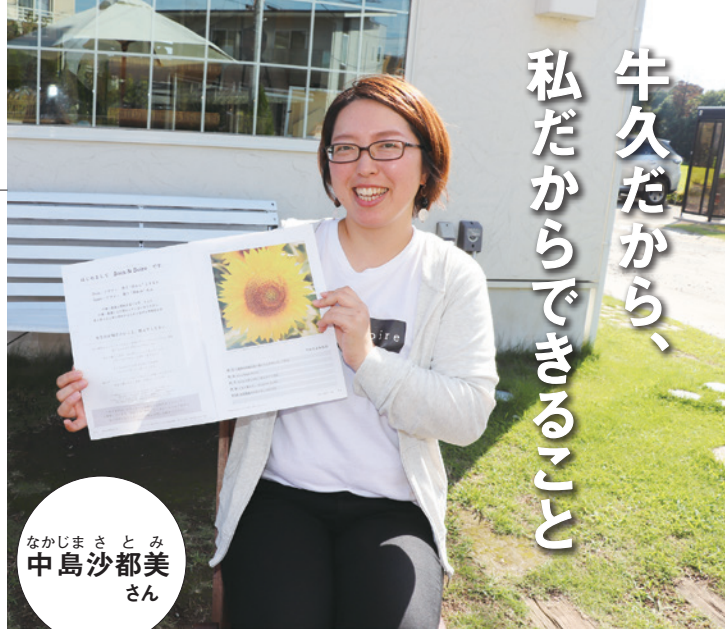
家族とのDIYも楽しい時間です

最後に「移住してきたり、子育てしていたりすると、孤立感を感じるときはあります。でも一人じゃない。周りの人たちにちょっとしたしたことでも話してみてください」と笑顔でメッセージをくれました。



次回は4月1日号に掲載予定。シティプロモーションサイトでも自分らしく暮らしている人たちを紹介しています。

牛久だから、私だからできること



なかじまさとみ
中島沙都美さん

つながると共通の友人がいたり、たまたま引越した家の近所に知り合いのお宅が多かったりと、牛久は人と人とのつながりの強さを感じます。

そんな環境の中、「牛久だから、私だからできること」を考えるようになり、友人に声を掛け、フリーペーパー「Soin&Scire」そわそわ」を創刊しました。「そわそわ」では、ハンディキャップと共に生きている人や介護している人も楽しく過ごせるよう、車いすで行けるお店などグルメ・イベント情報を発信しています。この取り組みが認められ「そわそわ」は「日本タウン誌・フリーペーパー大賞2019」において新創刊部門で優秀賞を受賞しました。

今月の たいへんよくできました 第一幼稚園のお友だち



ひまわりぐみ

さつまいもは年少さんたちが新聞紙で作ったもの。今年は台風の影響でお芋ほりが出来なかったので、みんなで一緒に遊びました！

第一幼稚園のお友だちは、恐竜迷路を作りました。恐竜の図鑑をみんなで見たのがきっかけ。集めてきた段ボールにビニールを貼ったり目や牙をつけたりして、まずは大きな恐竜を作りました。そして恐竜の卵や火山を作ったり、どんどんアイデアが広がっていき、最終的には段ボールを組み合わせた恐竜迷路が出来上がり！恐竜にまたがったり、迷路をくぐってみたり、オリジナルの遊び道具になりました。とっても素敵な作品ができたね！